

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

令和4年1月号

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」
令和4年1月1日(第201号)

12月20日 園芸



クリスマスツリー



大根やカブの収穫

12月3日 たいよう号バス旅行 佐倉市国立歴史民俗博物館



街中で探してしまおうその姿 明音
白熱だバレーボールで筋肉痛 亜海
頬の上こたつ囲んで笑顔咲く 里奈
歴史より未来を語った博物館 结香
かじかんだ手も温める皆の笑顔 朋加
支え合い人とつながる憩いの場 安里沙

川柳(実習生特集)





今年は年男なので、虎穴に入らずんば虎子を得ずの精神で頑張ります！下村
(下村さん、大掃除大奮闘、お疲れさまでした。)

ハングル語の検定3級に合格しました(12月10日)

1年前に2級、半年前に準2級たてつづけに不合格だったのは、自分のレベルがよくわからなかったのだと思います。バレーボールも絵画も始めた頃とは比較にならないほど上達したと自分でも思いますし、他の人にも言われます。こういう自分の姿勢はもしかしたら、父親譲りかもしれません。父には本当に感謝しています。(澁谷英之)



新年に思うこと

昨年1番自分を褒めたいことは、8月にポスティング作業を始めたことです。他のメンバーやスタッフのおかげで乗り切れてることが嬉しいです。時々「やらなければよかったな」と後悔することもあります。

それから12月に今まで夢中だった「花組芝居」だけでなく、近現代劇も観てみたいと思い「ちば演劇を観る会」に入会しました。今年は更に視野を広げて自分を変えたいです。(白井)

なじめなかったパラリンピック

今なぜか昨年忘れ物をした様な気持ちをぬぐうことができません。それは、コロナ禍の中でパラリンピックがあったこと、私は50年以上障がいを持つ人々と生き、私自身も当事者(精神障がい)からです。

私の母が献身的な人であったことから高校時代に「私の人生は障がい者とともに生きよう」と決めました。地域の養護学校に19年、施設提携養護学校に14年働き、私自身も障がい当事者(41歳)になった為に56歳で強引に退職させられました。そして、その後今も精神障がい者の為、地域活動支援センター「けやきと仲間」で活動しています。

精神障がい者になった後、私が16年間働き続けられたのは、まわりに私を理解してくれた人々がいたからです。私は、自分の力で出来ることは最大努力しましたが、年々障がいが重くなり、みなさんと同じ仕事ができなくなりました。私は、仲間に私のやる仕事を分担してもらい援助してもらいましたが、障がい者が職場にいることは困ると言う強い管理職のいじめでやめることになってしまいました。長い障がい児童との生活の中で、障がい者を取り巻くダブルの不幸(家庭の貧困、養育者の不明)等がある多くの障がい児者が社会から抹殺され不幸のどん底に落とされている現場に何度も遭遇しました。今でも私の生きる原点は救うことのできなかった障がい児者への贖罪の気持ちです。

日々のメディアの「強い障がい者、競う、比べ合う」という加熱した報道の中で、私は脚光を浴びる選手と一般の障がい者の日常生活との間にある隔絶した壁をどうしても感じてしまうのです。もちろん選手の方々を否定しているわけではありません。そもそも、障がい者スポーツの実践はノーマライゼーション(障がい者も健常者と区別されることなく暮らせる国づくり、町づくり)の実現とセットで進められてきた社会改革運動でした。障がい者を理解し合う社会は、あらゆる障がい者の権利と人権を守る思想を原点に「助け合う、支え合う」中で保障されることだと日々実感して生きてきました。こんな私なのでメディアのヒステリックな報道に素直になじめなかった様です。(糸日谷)

千葉県障害者スポーツ大会

強豪チームとの練習試合3戦全敗

緊張した、でも楽しかった、もっと真剣に練習しておけば良かった。

良い経験をありがとう。参加者一同



参加賞のメダル

